



のびるたけの子

9月号

令和2年9月1日

学校教育目標

【知】自ら進んで課題や問題に取り組み、積極的に学び続ける子を育てます。
【徳】友達のよさを認め、自他を尊重できる子を育てます。
【体】健康やかな心と体を育み、自他の生命や健康を大切にすることを育てます。
【公】社会の一員としてお互いに助け合い、社会のために行動する子を育てます。
【開】人と人のコミュニケーションを通して、社会への視野を広げ、共に生きる心を育てます。

暑い日が続いています

校長 相坂 俊

夏休みが明けて2週間が経ちましたが、依然30度を超える暑い日が続いています。新型コロナウイルス感染症の予防に取り組みながら、とともに、暑さへの対策が必要とされる夏になりました。

引き続き、水分補給のための水筒持参や日よけのための帽子の着用等、暑さ対策へのご協力をお願いいたします。

また、この暑さの中、登下校時の児童の見守りのために、保護者の皆様や見守り隊の皆様にはお力添えをいただいています。心より感謝申し上げます。



文部科学大臣からのメッセージ

報道等でご存じと思いますが、この度のコロナ禍における様々な課題について、文部科学大臣から子どもたち・保護者の皆様・地域の皆様にメッセージが出ています。以下、一部抜粋したものを掲載します。

新型コロナウイルスが広がってから、皆さんは、学校はどうなるのだろう、この先どうなるだろうと、不安だったのではないのでしょうか。新しい学期を迎えるに当たって、皆さんに伝えたいことがあります。

まず、感染症にかからないようにするには、いくつかの方法があります。すでに皆さんが取り組んでいるように、話をするときにはマスクをしたり、手を洗ったり、具合が悪い場合には学校を休んだりしてもらうことです。そして何より、健康的な生活を送ることが大切です。それでも、これまでも皆さんは風邪をひいたり、インフルエンザになったりしました。今はさらに新型コロナウイルスが課題になっています。

この三つは、症状がよく似ています。ですから、今後、皆さんの誰もがこうした症状を経験することがあるでしょう。具合が悪い人の中には、新型コロナウイルスに感染したと診断される人も身近な人の中から出るかもしれません。もちろん、それが友達だと分かったら自分は大丈夫かなと不安になることもあるでしょう。

新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があります。感染した人が悪いということではありません。学校やクラスの中で感染することは悪いことだという雰囲気が出てしまうと、新型コロナウイルスに感染したと疑われることをおそれて、具合が悪くなくても、その後は言いだしにくくなったり、病院に行くのが遅くなったりしてしまいます。そうすると、さらに皆さんの地域で感染が広がってしまうかもしれません。

感染した人や症状のある人を責めるのではなく、思いやりの気持ちを持ち、感染した人たちが早く治るよう励まし、治って戻ってきたときには温かく迎えてほしいと思います。もし、自分が感染したり症状があったりしたら、友達にはどうしてほしいかということを考えて行動してほしいと思います。(後略)

令和二年八月 文部科学大臣 萩生田 光一

※メッセージの詳細は、学校ホームページに掲載します。